

災害割増特約(2022) 目次

(2022年4月実施)

第1編 この特約の締結に関する規定

- 第1条 特約の締結
- 第2条 特約の保険期間および保険料払込期間

第2編 この特約の保険給付に関する規定

- 第3条 保険金の支払
- 第4条 保険金を支払わない場合

第3編 この特約の締結後の取扱いに関する規定

- 第5条 総則
- 第6条 中途付加された特約の責任開始期
- 第7条 特約保険金額の自動減額等
- 第8条 特約の消滅
- 第9条 特約の払戻金
- 第10条 特約の更新
- 第11条 普通保険約款の規定の適用

災害割増特約(2022)

第1編 この特約の締結に関する規定

(特約の締結)

第1条 この特約は、保険契約者（以下「契約者」といいます。）の申出により、特約組立型総合保険契約に定期保険特約、収入保障特約＜逓減型＞または生存給付金付定期保険特約（以下「定期保険特約等」といいます。）とあわせて付加して締結します。この場合、会社は、この特約が付加された特約組立型総合保険契約の普通保険約款（以下「普通保険約款」といいます。）の告知義務に関する規定にもとづき、契約者または被保険者に対しこの特約に関する告知を求めます。

(特約の保険期間および保険料払込期間)

第2条 この特約の保険期間および保険料払込期間は、会社所定の範囲内で定めるものとします。

第2編 この特約の保険給付に関する規定

(保険金の支払)

第3条 この特約において、普通保険約款の保険金等の支払に関する規定に定める「支払事由」とは、第2項各号の保険金ごとにそれぞれ当該各号に定める支払事由をいい、会社は、これらの支払事由が生じた場合に、この特約および普通保険約款の規定にしたがい、保険金を支払います。

2 この特約の保険金の名称、支払事由、支払額および受取人は、次のとおりです。

号	名称	支払事由	支払額	受取人
(1)	災害割増保険金	被保険者がこの特約の保険期間中に次のアまたはイのいずれかの事由に該当したとき。 ア. この特約の責任開始【備考1】期以後に発生した不慮の事故（別表11）を直接の原因として、その事故の日からその日を含めて180日以内に死亡したとき。 イ. この特約の責任開始【備考1】期以後に発病した感染症（別表12）を直接の原因として死亡したとき。	特約保険金額	普通保険約款に定める死亡給付受取人

第3条 備考

【備考1】責任開始

この特約の復活が行なわれた場合には、最後の復活の際の責任開始とします。

(2)	災害割増保険金	<p>被保険者がこの特約の保険期間中に次のアまたはイのいずれかの事由に該当したとき。</p> <p>ア. この特約の責任開始【備考1】期以後に発生した不慮の事故（別表11）を直接の原因として、その事故の日からその日を含めて180日以内に高度障害状態（別表2）に該当したとき。</p> <p>この場合、責任開始【備考1】期前にすでに生じていた障害状態に、責任開始【備考1】期以後に発生した不慮の事故（別表11）を直接の原因とする障害状態が新たに加わって高度障害状態（別表2）に該当したときを含みます。</p> <p>イ. この特約の責任開始【備考1】期以後に発病した感染症（別表12）を直接の原因として高度障害状態（別表2）に該当したとき。</p> <p>この場合、責任開始【備考1】期前にすでに生じていた障害状態に、責任開始【備考1】期以後に発病した感染症（別表12）を直接の原因とする障害状態が新たに加わって高度障害状態（別表2）に該当したときを含みます。</p>	特約 保険金額	普通保険約款に定める傷害疾病給付受取人
-----	---------	---	------------	---------------------

3 災害割増保険金の受取人を前項に定める者以外の者に変更することはできません。

4 災害割増保険金の支払にあたっては、第2項の規定によるほか、次の各号に定めるところによります。

(1) 被保険者が生死不明の場合でも、被保険者が死亡したものと会社が認めたときは、第2項第1号の災害割増保険金を支払います。

(2) この特約の保険期間満了の日に、高度障害状態（別表2）のうち回復の見込がないことが明らかでないために第2項第2号の災害割増保険金が支払われない場合でも、この特約の保険期間満了後も引き続きその状態が継続し、かつ、その回復の見込がないことが明らかになったとき（不慮の事故（別表11）を直接の原因とする場合は、その事故の日からその日を含めて180日以内であることを要します。）は、この特約の保険期間中に高度障害状態（別表2）に該当したものとみなして災害割増保険金を支払います。

(3) 第2項第2号の災害割増保険金を支払う前に第2項第1号の災害割増保険金の請求を受け、第2項第1号の災害割増保険金が支払われるときは、会社は、第2項第2号の災害割増保険金を支払いません。

（保険金を支払わない場合）

第4条 前条第2項各号に定める支払事由に該当した場合でも、次の免責事由に該当するときは、会社は、前条の保険金を支払いません。

号	保険金の免責事由	
(1)	前条第2項第1号の災害割増保険金を支払わない場合	<p>次のいずれかにより被保険者が前条第2項第1号の災害割増保険金の支払事由に該当したとき。</p> <p>ア. 契約者または被保険者の故意または重大な過失</p> <p>イ. 死亡給付受取人の故意または重大な過失</p> <p>ウ. 被保険者の犯罪行為</p> <p>エ. 被保険者の精神障害または泥酔の状態を原因とする事故</p> <p>オ. 被保険者が法令に定める運転資格を持たないで運転している間に生じた事故</p> <p>カ. 被保険者が法令に定める酒気帯び運転またはこれに相当する運転をしている間に生じた事故</p> <p>キ. 地震、噴火または津波</p> <p>ク. 戦争その他の変乱</p>

(2)	前条第2項第2号の災害割増保険金を支払わない場合	<p>次のいずれかにより被保険者が前条第2項第2号の災害割増保険金の支払事由に該当したとき。</p> <p>ア. 契約者または被保険者の故意または重大な過失</p> <p>イ. 傷害疾病給付受取人が被保険者とは別に定められているときは、その者の故意または重大な過失</p> <p>ウ. 被保険者の犯罪行為</p> <p>エ. 被保険者の精神障害または泥酔の状態を原因とする事故</p> <p>オ. 被保険者が法令に定める運転資格を持たないで運転している間に生じた事故</p> <p>カ. 被保険者が法令に定める酒気帯び運転またはこれに相当する運転をしている間に生じた事故</p> <p>キ. 地震、噴火または津波</p> <p>ク. 戦争その他の変乱</p>
-----	--------------------------	---

- 2 被保険者が死亡給付受取人の故意または重大な過失によって前条第2項第1号の災害割増保険金の支払事由に該当した場合でも、その受取人がその災害割増保険金の一部の受取人であるときは、災害割増保険金のうちその受取人が受け取るべき金額を除いた残額を他の死亡給付受取人に支払います。被保険者が傷害疾病給付受取人の故意または重大な過失によって前条第2項第2号の災害割増保険金の支払事由に該当した場合も同様とします。
- 3 被保険者が地震、噴火、津波または戦争その他の変乱によって災害割増保険金の支払事由に該当した場合でも、その原因によって支払事由に該当した被保険者の数の増加が、この特約の計算の基礎に及ぼす影響が少ないと会社が認めたときは、会社は、その影響の程度に応じ、災害割増保険金の全額を支払い、またはその金額を削減して支払います。

第3編 この特約の締結後の取扱に関する規定

（総則）

第5条 第2編（この特約の保険給付に関する規定）の規定のほか、この特約が締結されてから消滅するまでのこの特約の取扱については、本編に定めるところによります。

（中途付加された特約の責任開始期）

第6条 普通保険約款の会社の責任開始期に関する規定にかかわらず、特約組立型総合保険契約の締結後に当該保険契約に付加されたこの特約については、会社は、次の時から保険契約上の責任を負います。

- (1) 会社が、この特約の付加を承諾した後にこの特約の第1回保険料を受け取った場合
この特約の第1回保険料を受け取った時
- (2) 会社が、この特約の第1回保険料相当額を受け取った後にこの特約の付加を承諾した場合
次のいずれか遅い時
 - ア. この特約の第1回保険料相当額を受け取った時
 - イ. 被保険者に関する告知を受けた時

（特約保険金額の自動減額等）

第7条 この特約とあわせて特約組立型総合保険契約に付加されている定期保険特約等（この特約の締結後に付加された会社の定める特約を含みます。以下本条および第10条において同じ。）の死亡保険金額および換算保障額^{【備考1】}の合計額（以下「死亡保険金等の合計額」といいます。）が定期保険特約等の解約または保険期間の満了等により減少したために、当該死亡保険金等の合計額に対するこの特約の保険金額の割合が会社の定める限度をこえるにいたった場合には、その限度を満たす範囲までこの特約の保険金額を減額するものとします。ただし、定期保険特約等の死亡保険金等の合計額が「0」となった場合、または減額後のこの特約の保険金額が会社の定める金額を下回ることとなる場合は、この特約は解約されたものとします。

- 2 この特約とあわせて特約組立型総合保険契約に付加されている定期保険特約等の一部が解約された場合に、この特約の保険期間満了の日が残存する定期保険特約等の保険期

第7条 備考

【備考1】換算保障額

収入保障特約＜逡減型＞等の特約年金の支払事由が生じた日において、年金支払期間中に支払うべき特約年金を一括支払するときの金額をいいます。

間満了の日をこえるときは、この特約は定期保険特約等の一部の解約と同時に解約されたものとしします。

- 3 第1項の規定によりこの特約の保険金額を減額した場合には、減額分は解約されたものとして取り扱います。

(特約の消滅)

第8条 前条の規定のほか、第3条（保険金の支払）第2項第2号の災害割増保険金が支払われたときは、この特約は、被保険者が高度障害状態（別表2）に該当した時にさかのぼって消滅します。

(特約の払戻金)

第9条 この特約については、払戻金はありません。

(特約の更新)

第10条 この特約の保険期間が満了する場合で、この特約とあわせて特約組立型総合保険契約に付加されている定期保険特約等の保険期間が同時に満了し定期保険特約等が更新されるときは、契約者が保険期間満了の日の2ヵ月前までに反対の意思を会社に書面で通知しない限り、この特約も更新して継続されます。ただし、次のいずれかに該当する場合には更新できません。

(1) この特約の保険期間を歳満期で定めているとき。

(2) 更新時に会社がこの特約の付加を取り扱っていないとき。

- 2 この特約が更新された場合、更新後のこの特約について、第3条（保険金の支払）の規定、この特約とあわせて付加されている特約の保険料の払込免除の規定および普通保険約款の告知義務違反による解除の規定を適用するときは、更新前の特約の保険期間と更新後の特約の保険期間とは継続したものとして取り扱います。

- 3 第1項第2号の規定によりこの特約が更新されず、かつ、第1項第1号の規定に該当しない場合には、会社がこの特約と同種の他の特約の付加を取り扱っているときに限り、更新の取扱いに準じて、会社の指定するこの特約と同種の他の特約を更新時に付加します。この場合、前項の規定を準用し、この特約と更新時に付加する他の特約の保険期間は継続したものとして取り扱います。

- 4 定期保険特約等の特約条項に定める更新後の特約の保険期間、保険金額および第1回保険料の払込ならびに更新後の特約に適用される特約条項および保険料率等に関する規定は、この特約の更新の場合に準用します。

(普通保険約款の規定の適用)

第11条 この特約に別段の定めのない事項については、普通保険約款の規定によるものとします。

別表につきましては、273ページをご参照ください。